

平成 30 年度第 3 回医療・介護人材育成のためのテーマ型研修会

「病院・在宅で使える社会資源の話」 主催：北上市在宅医療介護連携支援センター

平成 30 年 10 月 22 日、北上済生会病院にて第 3 回医療・介護人材育成のためのテーマ型研修会が開催されました。講師にホームケアクリニックえん MSW 櫻井茂氏、北上済生会病院 MSW 菅原詩織氏を迎え「病院・在宅で使える社会資源の話」をテーマに、病院・在宅それぞれの立場からお話ししていただきました。参加者 86 名はどんな医療をどんな形でどこまで見据えて支援サービスを使うことが可能かなど、活用できる社会資源について学びました。医療制度のこと、障害年金・傷病手当金などの社会保険制度のこと、北上済生会病院の無料低額診療事業のことなど、いろいろな制度を知るきっかけとなりました。また、相談窓口を知っておくと便利に活用していけることがわかりました。高齢者が困っていることについて、制度やサービスをどう活用して支援していくことができるか、それぞれの職種目線で考えておりました。



第 7 回きたかみ施設相談員連携交流会

主催 北上生活相談員実行委員

共催 北上市在宅医療介護連携支援センター

平成 30 年 11 月 9 日 北上済生会病院において第 7 回きたかみ施設相談員連携交流会が開催されました。今回は「ピンポイントミニ事例検討会」と題して、講師に看護小規模多機能ホーム日高見介護支援専門員兼管理者の高橋和彰氏をお迎えしてグループによる事例検討を行い、困ったことについてのピンポイントアドバイスを頂きました。テーマは「あなたに事業所の工夫」についてでしたが、事例検討を通してそれぞれの施設の強みを知り、「相談員は施設の顔であること」「利用者さんから何でも相談しやすい一番近い存在で一緒に考えたりできること」を再認識しておりました。参加者の成功体験を共有することで自分の成長の糧とし、語り合う場を大切にしてお互い学び合っておりました。



小児の地域包括ケアネットワーク研修会

『人口減少時代における岩手の新生児・小児医療

—地域で暮らすために私たちが出来ること—

共催：北上市・北上済生会病院 後援：医師会

平成 30 年 11 月 16 日、ホテルシティプラザ北上にて、北上済生会病院・北上市共催、北上医師会後援による、小児の地域包括ケアネットワーク研修会が開催されました。この研修会は、基幹病院や診療所、療育センター、通園施設、学校、医療、福祉、教育、行政など、多くの方々に、在宅医療や医療的ケア、生活支援等を必要とする子どもや青少年のおかれている現状について知ってもらい、連携のきっかけとなることをねらいとして開催されました。北上市、西和賀町、花巻市、奥州市などから 91 名の方が参加されました。

北上済生会病院村上洋一副院長を座長に、岩手医科大学医学部小児科学講座主任教授 小山耕太郎氏を講師に迎え、「人口減少時代における岩手の新生児・小児医療—地域で暮らすために私たちが出来ること—」と題して講演会しました。講演では、岩手医大が進める新生児・小児医療について人口動態の変化と医療提供体制について、大学病院の医療から地域でのヘルスケアへの移行について、医療的ケアが必要な子どもに対する施策などについて、また、医療機関、園や学校を含む地域の中で、健康情報を共有するための新しいネットワークが必要であることなどについて話されました。講演のあと、北上市の現状と課題について、北上医師会、北上済生会病院、北上市保健福祉部福祉課より報告が行われ、近年急増している在宅医療や医療的ケア、生活支援を必要とする子どもや青少年が住み慣れた地域で暮らしていける「小児の地域包括ケアネットワーク」の構築が急務であることなどの意見が交わされました。



平成 30 年度第 2 回在宅医療連携推進協議会

主催：北上市、在宅医療介護連携支援センター

平成 30 年 11 月 27 日、北上済生会病院にて、第 2 回北上市在宅医療介護連携推進協議会が開催されました。北上市及び北上市在宅医療介護連携支援センターより事業の進捗状況について報告が行われました。センターからは、ホームページの立ち上げと利用状況、認知症対応型グループホームへの訪問診療を通した看取りに向けた支援の状況、相談支援状況について報告が行われました。また、北上市より、多職種連携による短期集中介護予防事業「元気アアップ教室」「幸せに歳を重ねるために人生の心づもりの普及について」「わたしのきぼうノート」について取り組み報告、認知症初期集中支援事業に係る検討委員会の設置について協議が行われました。



市では平成 30 年度から令和 2 年度までを「多職種連携向上・市民意識醸成期」として位置づけています。今後も、在宅チームケア体制の構築に向けて、具体的な課題解決と市民ニーズに配慮した意識啓発に取り組んでいきます。多職種の顔の見える関係のその先へと取り組みを進めていきます。

第4回北上認知症連携セミナー

～多職種連携で支える認知症～

共催：北上医師会 バイタルネット ヤンセンファーマ

平成30年11月29日、ホテルシティプラザ北上にて、第4回北上認知症連携セミナーが開催されました。医師や歯科医師、施設看護師、薬剤師、介護職員、介護支援専門員、保健師、リハビリ職などを含む約90名が参加しました。セミナーは2部構成で行われ、第1部ではいわぶち脳神経クリニックの岩淵崇院長を座長に、岩手医科大学内科学講座神経内科・老年科分野の米澤久司准教授が「認知症の早期発見・早期治療の重要性」について講演しました。認知症の治療は、早期の治療とデイサービスの併用が非常に効果的であることや、2040年には全人口の10人に1人が認知症になるという時代に備え、早期発見で認知症の周辺症状を極力小さくし、社会の一員として共に生活していける環境整備が必要であることなどのお話がありました。

第2部では、ホームケアクリニックえんの千葉恭一院長が司会となり田郷医院の田郷英昭院長を迎えて多職種による事例検討グループディスカッションが行われました。「帰宅願望の3例」が示され、その中から、「居宅型施設での帰宅願望の事例」について、意見交換を行いました。「主治医と施設職員とのコミュニケーションの難しさと大切さ」「判断能力が残っている時点で本人の気持ちを引き出すことが大切」「本人が決められない時、どのようにサポートしていくか」など、活発な意見が交わされました。

第4回入退院支援作業部会

主催：北上市在宅医療介護連携支援センター

平成30年11月9日、北上済生会病院にて第4回入退院支援作業部会が開催されました。前回、入退院時連携にあたっての主な課題と対応策として事務局より提案した「北上市の入退院支援の手引き・ハンドブック（仮称）」の作成について検討を行いました。今回の部会ではハンドブック作成の趣旨説明後、岩手県看護協会北上支部や北上地区ケアマネジャー連絡協議会主催の研修における意見の集約状況北上市ケアマネジメント支援会議において実施した医療介護連携に関するグループ

討論の内容について事務局より報告しました。続いて各部会メンバーより、入退院支援状況の取り組み（入院時～入院中～退院時～在宅・施設生活の各場面において、取り組んでいる業務、支援を行う上で困っていること、改善が必要なこと、工夫していること、など）の報告が行われました。さらに事務局からハンドブックのアウトラインを示しハンドブックの目的、基本的な考え方、入退院時連携のプロセスとチェックポイント、お互い押さえておきたいマナーなどについて部会メンバー間で検討を行いました。



みんなで考えるきたかみ型地域包括ケア推進フォーラム

「幸せに歳を重ねるための心づもりは話し合いから」

主催 北上市・北上市在宅医療介護連携支援センター

平成 30 年 12 月 22 日、日本現代詩歌文学館講堂にて、みんなで考えるきたかみ型地域包括ケア推進フォーラムが開催されました。本フォーラムコーディネーターの岩手県立中部病院副院長兼緩和ケア科科長の星野彰医師から「わたしのきぼうノート」活用法や、ノート完成までの経緯について説明がありました。次に北上市在宅医療介護連携支援センター長の柴内一夫医師より、ノートの詳細について紹介が行われました。講演会では碧祥寺（西和賀町）の太田宣承住職が『一人十色の人生観、幸せに歳を重ねていますか〜』と題して講演しました。来場された方々をやさしく笑いで包みながらがん告知を受け亡くなるまでの 2 年半を「どうせ逝くなら笑って逝きたい」「今、幸せに生きれば向こうの世も幸せ」と話して生きた方など、多くのエピソードを織り交ぜながらお話しいただきました。また、施設では死生観について語り合う「命の喋り場」を設け、施設を利用する高齢者と家族、職員が語り合い、変化が生じていることお話しいただきました。参加者は望ましい老後と「心づもり」について考えていました。「集まりは好きではなかったが参加して良かった」「息子と話し合いたい」などの意見が聞かれました。会場は定員を超える約 250 人が来場し、別室で講演を聞いた方もおりました。



平成 30 年度第 4 回医療・介護人材育成のためのテーマ型研修会

「褥瘡予防とスキンケア」

主催：北上市在宅医療介護連携支援センター

平成 31 年 1 月 17 日、北上済生会病院大会議室にて岩手県中部病院皮膚排泄ケア認定看護師の千田由美子氏をお迎えし「褥瘡予防とスキンケア」の研修会が行われました。参加者 52 名は、褥瘡発生の要因やメカニズム、ケアの実際、褥瘡の観察と要因の推測、スキンケア（ドライスキン、浸軟）どんな人でどのような生活おくり抱えている病気は何か、などを理解してアセスメントを行うことの重要性について、実践を交え、わかりやすくお話をいただきました。また、「研修内容がわかりやすかった」「また計画してほしい」という意見が多くありました。研修終了後も個別の相談にも乗っていただきました。



編集後記：インフルエンザが猛威を振るっていた中でも北上市の医療・介護の皆様は学習熱心で研修に多くの足を運んでいただきありがとうございます。開催スタッフ一同感謝申し上げます。北上の医療介護ネットワークをさらに邁進していけたらと思います。皆様からのご相談・出前講座企画など対応したいと考えておりますのでどうぞ連絡お待ちしております。

発行：〒024-8506

北上市花園町 1 丁目 6-8

（北上済生会病院 2 階）

北上市在宅医療介護連携支援センター

TEL:0197-88-3011

FAX：0197-88-3012